

健康関連計画の市民アンケート調査の実施について

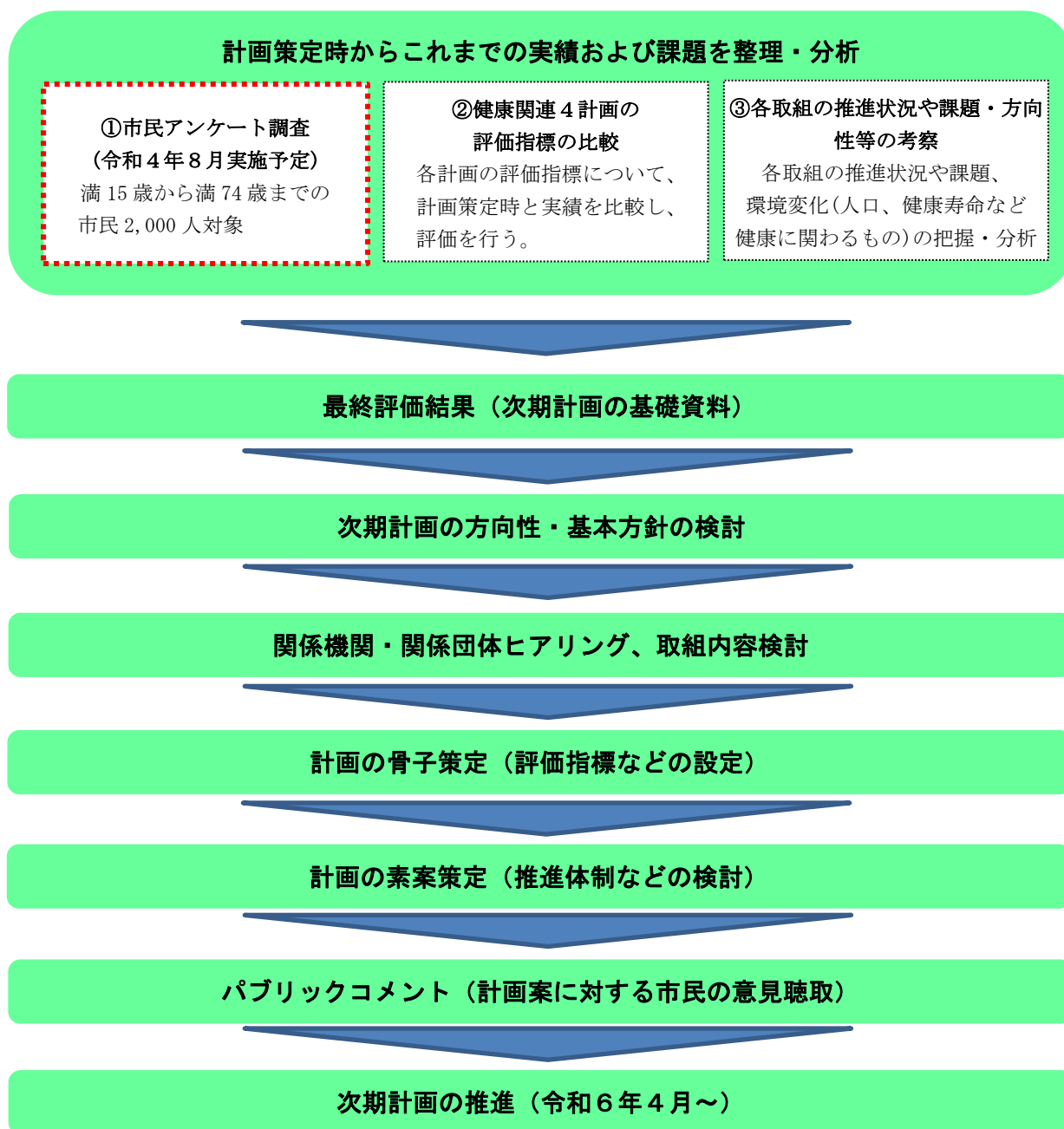
1 はじめに

令和4年度は本市がこれまで推進してきた健康関連4計画※の最終評価年である。最終評価を実施するにあたり、計画策定時からこれまでの実績および課題を整理・分析するため、①市民アンケート調査、②評価指標の比較、③各取組の推進状況や課題・方向性などの考察を行い、整理・分析した最終評価結果を次期計画の基礎資料とする。

※健康関連4計画：

第2次健康もりやま21, 守山市生涯歯科保健計画, 第2次守山市食育推進計画, 守山市自殺対策計画

<参考>最終評価から次期計画策定までの流れ



2 調査目的

第2次健康もりやま21計画策定時に実施した市民アンケート調査(平成23年10月)と今回行う同調査の結果を比較し、市民の意識の変化や健康課題、健康づくりに関する実態を把握し、次期計画の基礎資料とする。

3 調査対象

市内に在住の満15歳から満74歳までの市民2,000人(無作為抽出)

4 調査時期

令和4年8月上旬から9月上旬までの約1か月間

5 調査方法

アンケート表を郵送し、返送にて回収。

また、アンケート表に記載のQRコードによるWEB回答も可能とする。

6 調査項目(詳細は「資料3-1」を参照。)

調査項目は以下の考え方のもと、項目数は全56問とする。

〈アンケート調査項目の考え方〉

- ① 計画の評価指標となる項目は、計画策定時からの変化を比較検証するため、前回と設問とする。

(例: 定期的な歯科受診の有無、食育への関心度合、朝食の欠食割合 など)

- ② 最新の国の動向を踏まえ、次期計画の基礎資料とするための新たな項目を設定する。

(例: 新しい生活様式、SDGs、コロナ禍・コロナ後の自殺対策など)

- ③ アンケート間(健康21⇔食育)、項目間で重複する設問は精査するとともに、関連する設問については、関連番号を付与し、回答しやすい構成とする。

分野	前回	今回	主な内容
1 基本属性等	15項目(設問1-15)	9項目(設問1-9)	年齢、性別、学区、健康づくり
2 生活習慣病	1項目(設問16)	1項目(設問10)	メタボリックシンドローム
3 健康診査	4項目(設問17-20)	3項目(設問11-13)	健康診査・がん検診の受診状況
4 歯と口腔の健康	6項目(設問21-26)	6項目(設問14-19)	歯科健診、歯科受診状況
5 栄養・食生活	18項目(設問27-44)	18項目(設問20-37)	食育、食事摂取状況
6 アルコール	2項目(設問45-46)	1項目(設問38)	アルコール摂取量
7 たばこ	5項目(設問47-51)	6項目(設問39-44)	喫煙状況、喫煙の影響
8 身体活動・運動	10項目(設問52-61)	3項目(設問45-47)	運動習慣
9 休養・こころの健康	10項目(設問62-71)	5項目(設問48-52)	ストレス、睡眠
10 いきがい・ふれあい	0項目(設問なし)	1項目(設問53)	いきがい活動
11 その他(基本属性等)	2項目(設問72-73)	3項目(設問54-56)	コロナ禍の影響
計	73項目	56項目	

＜参考＞次期計画策定に向けた国等の動向

★健康寿命延伸プランの推進(令和元年5月策定)

- ・自然に健康になれる環境づくり(健康な食事や運動ができる環境、居場所づくり、社会参加)
- ・行動変容を促す仕掛け(行動経済学の活用、インセンティブなど)

などの新たな手法を活用し、以下の3分野を中心に取り組みを進める。

- ①次世代を含めたすべての人の健やかな生活習慣の形成
- ②疾病予防・重症化予防
- ③介護予防・フレイル対策、認知症予防

★第4次食育推進基本計画(令和3年度から令和7年度まで)の基本的な方針(重点事項)

- ①生涯を通じた心身の健康を支える食育の推進
- ②持続可能な食を支える食育の推進
- ③「新たな日常」やデジタル化に対応した食育の推進

★自殺総合対策大綱の見直しの方向性

～誰も自殺に追い込まれることのない社会の実現に向けた更なる推進～

※令和4年4月15日 「自殺総合対策の推進に関する有識者会議」報告書より(抜粋)

(見直しの趣旨)

自殺対策基本法が成立した平成18年以降は、自殺者数が減少傾向であったが、令和2年はコロナ禍の影響で様々な問題が悪化し、11年ぶりに前年を上回る、深刻な状況。

これまでの取組を基本にしつつ、新型コロナウイルス感染症の影響など喫緊の課題への対応も含め、今後更に取り組むべき課題を検討する。

- ①新型コロナウイルス感染症の影響も踏まえた支援(ICT活用、セーフネット強化など)
- ②スティグマ(例：差別、偏見など)の解消
- ③相談体制の充実と、支援策や相談窓口情報等の分かりやすい発信
- ④子ども、若者の自殺対策の更なる推進
- ⑤女性に対する支援 など

★歯科口腔保健の推進に関する基本的事項の総合評価と次期の基本的事項にむけた課題

※令和4年5月17日 第10回歯科口腔保健の推進に関する専門委員会資料より(抜粋)

- ①う蝕対策について、幼児期・学齢期の有病率は減少傾向にあるが、高齢者の根面う蝕などの対策が必要。また、成人期の未処置歯を有するものの対策も必要。
- ②歯周病対策については、20歳代の状況は改善。一方、40歳代は改善されていない。
- ③歯科健診(検診)の受診率が若年層において低く、受診率向上対策が必要。
- ④生涯を通じた切れ目のない歯科健診や歯科保健医療提供を効果的に実施する方策が必要。
- ⑤より効果的に行動変容を引き起こすため、ICTの活用や行動経済学の応用等の活用方法。
- ⑥定期的に歯科検診や歯科医療を受けることが困難な者への歯科保健医療状況の把握方法。

7 最終評価ならびに今後のスケジュールについて（前回資料再掲）

令和4年度の実最終評価、令和5年度の次期計画策定に向けたスケジュールは以下の予定。

	月	実施内容	健康づくり 推進協議会	協議内容	国(健康日本 21) 県(健康いきいき 21)
令和4 年度	6月	アンケート送付・回収 庁内ヒアリング アンケート集計分析 現状把握・分析ほか 基本方向性の検討			【県】栄養マップ
	7月		・第1回庁内会議 ・第1回協議会	アンケート内容	【国】最終評価発表
	8月				
	9月				
	10月				
	11月		・第2回庁内会議 ・第2回協議会	アンケート分析/結果	
	12月				
	1月				
	2月		・第3回庁内会議 ・第3回協議会	現計画分析/報告・次期計画基本方針	【国】次期計画骨子発表
	3月				
令和5 年度	4月	ヒアリング 骨子の策定 素案の策定			【県】計画策定
	5月		・第1回庁内会議 ・第1回協議会	次期計画方向性	
	6月				
	7月				
	8月		・第2回庁内会議 ・第2回協議会	次期計画骨子	
	9月				
	10月				
	11月		・第3回庁内会議 ・第3回協議会	次期計画素案・パブコメ内容	
	12月				
	1月		パブリックコメント		
	2月		計画修正・校正	・第4回庁内会議 ・第4回協議会	次期計画（案）
	3月		次期計画確定		
			4月	次期計画に基づき健康施策を推進	

